



石橋文化センター アートフェスティバル²⁰²⁵

大人も子どもも
アートに触れよう！



秋色に染めて重ねる空間アート

洋画家＝宇美拓哉、染色家＝福田隆雄、
デザイナー＝田中さとる

アートフェスティバル期間中に、園内の紅葉をテーマとしたこども染色体験ワークショップ「秋風に揺れるはっぱを染めてみよう」を開催。子どもたちとアーティストによるアート作品として園内に展示。子どもたちの自由な表現制作した色とりどりの作品が園内を包みます。

こども染色体験ワークショップ

「秋風に揺れるはっぱを染めてみよう」
地元のアーティスト等によるアートワークショップを
11/2(日)、3(月・祝)10:00～15:00に開催します。
園内の紅葉をテーマに作品を制作、その後、
フェスティバル期間中、園内に展示されます。

| 時間 | ①10:00～12:00 ②13:00～15:00

対象 小学生以上
当日 申込・受付
参加料 無料



醐端亭プロジェクト

佐賀大学
芸術地域デザイン学部

“ダイバーシティ”をもじった「醍端亭(だいばしてい)」は、
見落とされがちなものに目を向け、手を差し伸べるプロ
ジェクトです。多様な人々が共存できる場づくりを目指
し、ラジオやワークショップなどを通して、互いの時間や
リズムを尊重しあう体験を提供。多様性について考える
きっかけを創造します。

2018年よりアートフェスティバルに参加
【近年の活動】2022年『石橋文化センターハイライト
ツアー』／2023年『障碍の茶室Ⅷ 児童の庭』／2024年
『オレクトロニカ アートセンター路上活動実践室』



いつか、どこかで

九州大学 大学院
芸術工学部

5人のアーティストが「自分だけの時間」を過ごした場所
を象徴する椅子を設置。そこに座ることで、制作者が感じ
た光や風、音、香りを追体験し、他者の視点と時間に触
れることができます。歴史ある庭園の風景や空間と深く
結びついた静かな対話の体験により、自分自身の時間
や感覚を見つめ直すきっかけを提供します。
「石橋文化センターのどこかに5脚の椅子が置かれて
います。ぜひ探して座っていただき、ゆっくりと心ゆくまで
その空間を味わってみてください!」(椅子の周辺にあるQR
コードを読み取ると、より詳細な説明が書かれています)



“The Pathway of Light and Shadow”/光と影の小道

九州産業大学
芸術学部

庭園が本来持つ美しさと並走するような、自然と対話
する感覚的な旅を提供するアート体験。庭園内に点在
するオブジェを辿れば、彫刻であり社交の場でもある
パビリオンに到着します。そこには、自然の美しさと調和
しながら、ワークショップや参加型プログラムを通じて、
内省や対話を促す空間が待っています。



カッパ世界のダイバーシティ

久留米大学附設中学・高等学校生徒有志+anno lab
スペシャルアドバイザー:小川 進(附設高校卒/20回生)

いつもは同じ制服を着て、同じ校舎に通い、同じ授業を受けている
私たち。でも本当は、違うところが沢山あって、そこに魅力が生まれ
るし、自分を見つめるきっかけにもなります。カッパ世界は現実世
界のパラレルワールド、心を映す鏡です。アートフェスティバル期
間中、大きさも技法も表現も様々なカッパたちが園内に現れます。
作り手の顔や個性を想像しながら、カッパ探索してみませんか?
『3年前のアートフェスで、ライトアップ作品「夜の石橋に現れるもの
たち」を制作した当時中2＝現高2の生徒たちがコアメンバーと
なり、今年は「カッパ」をテーマに決め、現中2～高2の有志生徒で
取り組みました。』

一般協賛企業

アサヒシューズ株式会社、アリオン株式会社、株式会社栄電舎、オリエント産業株式会社、川島交通自動車株式会社、キーコーヒー株式会社 九州支社、
株式会社ギャルソン、九州ビルサービス株式会社、株式会社九電工 久留米営業所、株式会社キリンビバックス、久留米ガス株式会社、
久留米観光コンベンション国際交流協会、久留米市企業局、久留米市農業協同組合、香和印刷株式会社、コワーコンピュータ株式会社、
株式会社コスモレンタル 福岡営業所、株式会社三造社、シオカワコーポレーション株式会社、株式会社篠原工務所、清水建設株式会社 九州支店、
株式会社シミズ・ビルライフケア 九州支社、株式会社十八防災システム、株式会社昭和堂 九州支店、セコム株式会社、大和証券株式会社 久留米支店、筑後信用金庫、
社会医療法人 天神会、中村桂園、株式会社 天年堂、西日本エリートスタッフ株式会社、日商保険コンサルティング株式会社、福岡県南広域水道企業団、
有限会社ボスママダ、株式会社 松機、一般財団法人 久留米市みどりの里づくり推進機構 道の駅くるめ、みぞぐち司法書士事務所、
株式会社ムーンスター、ヤマト運輸株式会社、医療法人 吉武泌尿器科医院



アートフェスティバル2021
「森の水族館」(佐賀大学)



カッパ世界のダイバーシティ



“The Pathway of Light and Shadow”/光と影の小道



いつか、どこかで

つくる喜び、ふれる楽しさ。
ここは、アートが育つ場所。



秋色に染めて重ねる空間アート

石橋文化センター アートフェスティバル²⁰²⁵

2025
10/25^土 ≫ 11/16^日

10:00～17:00

アートフェスティバル2024
「水妖の棲み家」(九州産業大学)



アートフェスティバル2024
「しあわせの家をつくる」



醐端亭プロジェクト



| 主催 | 公益財団法人久留米文化振興会
| 共催 | 久留米市
| スペシャルパートナー | 株式会社ブリヂストン
| オフィシャルパートナー | 学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、
株式会社森光商店、喜多村石油株式会社、
株式会社ユー・エス・イー
| 特別協賛 | ダイハツ工業株式会社九州開発センター、
江口車輛販売株式会社



石橋文化センター全体がミュージアムに！

石橋文化センターでは、2016年の久留米市美術館開館からアートプロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトは、園内で、子どもたちや中学生、高校生がアーティストと交流し、作品を共同制作したり、アーティストを志す大学生の創作活動を支援したりし、久留米の文化芸術を発展させていこうという事業です。そして、毎年秋に「アートフェスティバル」を開催し、プロジェクト参加者たちが、様々なテーマのアート作品を園内に展示します。また、子どもから大人まで参加できるアートワークショップも実施します。自然とアートに包まれた、魅力いっぱいの園内をお楽しみください。



秋色に染めて重ねる空間アート
洋画家=宇美拓哉、染色家=福田隆雄、デザイナー=田中さとる



こども染色体験ワークショップ
「秋風に揺れるはっぱを染めてみよう」



醍醐亭プロジェクト
佐賀大学 芸術地域デザイン学部



“The Pathway of Light and Shadow”/光と影の小道
九州産業大学 芸術学部



いつか、どこかで
九州大学 大学院 芸術工学部



カッパ世界のダイバーシティ
久留米大学附設中学・高等学校生徒有志+anno lab+スペシャルアドバイザー:小川 進
(附設高校卒/20回生)

同時期
開催

久留米市美術館 展覧会

- 9月13日(土)～10月26日(日)
橋口五葉のデザインの世界
- 11月8日(土)～2026年1月18日(日)
ちくごist 深よみ古賀春江

石橋文化センター 秋の園内イベント

『秋のバラフェア』、『もみじまつり』などを開催します。バラや紅葉の中でコンサートやマルシェ、ワークショップや子ども向けイベントなどをお楽しみください。

- 10月14日(火)～31日(金)
ミュージアムハロウィン
- 10月28日(火)～11月24日(月)
秋のバラフェア
- 11月21日(金)～12月7日(日)
もみじまつり

